

会 議 名	平成24年度第4回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成25年3月13日（水）午後2時から4時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	（出席者）崎田座長、森委員、木原委員、榊中委員、藤野委員、 小林委員、鈴木委員、内藤俊之委員、清水早苗氏（武田委員代理）、 長谷川委員 （欠席者）内藤裕子委員、桜林委員、島村委員、荒川委員、 亀田委員
事 務 局	日山、高島、北川
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 報告事項 ① 紙ごみリサイクルセミナーの報告 ② 段ボールコンポスト受講経験者交流会の報告 ③ 3Rフォーラムの報告 ④ フードバンクセミナーの開催告知 2. 意見交換 平成25年度の事業の方向性について 3. 次年度の予定について エコライフ・フェアMINATO2013出展 4. その他
配 付 資 料	[事前配付] なし [席上配付] 1. 紙ごみリサイクルセミナー 開催報告 2. 段ボールコンポスト受講経験者交流会 開催報告 3. 3Rフォーラム 開催報告 4. フードバンクセミナー 開催告知・チラシ 5. 平成25年度の事業の方向性（事務局案） [参考資料] なし

主な発言・報告内容

●港区よりあいさつ

今年度のこれまでの活動を振り返り、来年度事業の方向性について意見交換したい。現在、議会の会期中だが、清掃やリサイクルへの関心は高い。特に大規模事業者のごみ減量の方針や、昨年9月から始めている小型家電回収についてなど、様々な観点から意見が出ていることから、区民・事業者・区が一層協力して対応を強めていく必要を実感している。

●座長よりあいさつ

循環基本計画の新たな見直しがほぼできている。3Rを進めることはもちろんだが、全国一律で取り組むのではなく、地域循環圏の中で、地域や資源の特性を踏まえて取り組む視点が強くなっている。小型家電のリサイクルについても、全国一律の法律設定ではなく、各自治体の特徴を活かす取組がよい。リデュース・リユースの2Rを徹底し、リサイクルについては質の高度化にとりくみ、最終的な適正処理は、熱・エネルギー回収を徹底することが強調されている。エネルギーの地域の自給率を高めていくことも循環型社会の中に取り込まれるようになっている。新しい傾向を見ながら、各地域の特徴にあった、より現実的な循環型社会の実現にむけて動いている。

1 報告事項

(1) 紙ごみリサイクルセミナーの報告

●事務局からの説明

中小企業の紙ごみの資源回収を推進し紙ごみの減量を目指すため、みなとエコ・オフィス町内会と港区オフィスリサイクルシステムの仕組みを紹介するセミナーを開催した。

●主な発言

- ・ 商工会議所港支部に協力いただき約3,700ヶ所にFAXを送付したが参加者が少ない。
- ・ 商工会議所の加盟団体はすでに対応ができているところも多い。
- ・ 商工会議所でもリサイクル事業協同組合の案内を年に1回送っている。毎回反応はあるが、それほど多くない。これは、大きな会社は仕組みができおり、小さなところは関心が低いためと思われる。
- ・ 以前も事業者向けに食品リサイクルを実施するセミナーを開催したが、思ったよりも関心が低かった。紙の場合は資源とした方が安くなることも多いが、関心を持たせることが難しいようだ。
- ・ 大規模排出事業者については新聞・雑誌・段ボールはほとんどリサイクルされている。しかしミックスペーパーは必ずしもリサイクルが徹底されているわけではない。そのため、ミックスペーパーに関してはまだリサイクルに取り組めていなくても、「すでに

紙ごみリサイクルはできている」と思い込んでいるのかもしれない。

- ・ ミックスペーパーがリサイクルできることをより積極的に呼びかける必要がある。
- ・ チラシや案内に写真を載せると集まり方がまったく異なる。チラシを見た人に、一見するだけでインパクトが残るよう工夫する必要がある。
- ・ チラシを発送しても担当者が受け取っていない可能性もある。

(2) 段ボールコンポスト受講経験者交流会の報告

●事務局からの説明

これまでの受講生にアンケートを実施し継続状況を確認するとともに、受講経験者同士の横のつながりを築き、情報や意見を交換するための交流会を開催した。

●主な発言

- ・ 以前の3R推進行動会議で、過去の段ボールコンポスト講座受講生の取組の継続状況について質問を受けたので、今回アンケート調査と交流会が実施できた。アンケートの結果、約半数程度が続けていることがわかった。交流会への参加者の中には、講座に参加しなかったが参加できなかった人も参加してくれた。
- ・ 区からのサポートをうけながら、区民が独立して段ボールコンポストの環を広めることについて参加者から賛同をいただき、「(仮称) だんぼの会」を設立し活動を進めていくことを検討している。旗振り役が一人ではその人がいなくなった時に継続できなくなるので、みんなが対等な関係で広められるようにしたい。
- ・ 「自分がやっていて楽しい」ということだけではなく、区が応援してくれていることも大きい。
- ・ 旗振りが一人いると元気よくみえるが、少しゆっくりでも着実に広がっていることはよいことである。
- ・ アンケートで、続けている人と続けていない人が半分ずつ程度だった。しかし、続けられなかった人の理由を読むと、ヒントがあれば続けられるようなことも多い。このようなことに関心をもっているグループがあることを区が紹介できるようにすれば、続く人も多いと思う。
- ・ Q&Aを配ったこともあるが、とっさのときに動けないようだ。
- ・ 「(仮称) だんぼの会」には、連絡が取れる人が10名程度いる。会ができた時に受講生に連絡が取れるとよいと思う。また、エコプラザを拠点にできるようになれば活動しやすくなる。
- ・ 段ボールコンポストを利用し、区内で目につくところで畑をつくれるとよいし、そこに区民が参加できるようになればなおよい。
- ・ 区有地はとても貴重な財産なので、畑の提供は難しい。区役所などの屋上も防水加工に影響する可能性がある場所については実施はできない。

- ・ 南桜公園でできたらよいと思う。
- ・ 中央区では事業者が連携し、ミツバチ用の畑をビルの屋上でつくっているところもある。港区では、段ボールコンポストの堆肥を使って畑をつくれるようになればよい。

(3) 3Rフォーラムの報告

●事務局からの説明

港区3R推進行動会議の今年度の取組みの総括として、区内の団体と協力し、4日間にかけてイベントを開催した。3Rに関する様々なイベントを開催することで、3Rを普及啓発する機会とした。

●主な発言

- ・ 3Rフォーラムの江川氏の講演で、多摩市では段ボールコンポストに取り組んでいる人が得られるメリットについて紹介していたが、港区でも検討できればよい。
- ・ 講演で水切りの効果を説明する際に「片手で1億、両手で2億」という言葉を紹介していた。水切りを徹底し、税金を有効に使いたい。
- ・ 段ボールコンポスト講座を開催する際に、これまでの講座の受講生OGが積極的に協力してくれるようになっており、これからも広めていく価値があると確信している。
- ・ 港区は年間ひとり2万円のゴミ処理費用を使っている。多摩市は1.2万円とのことだったので、1.2万円を目指す必要がある。
- ・ 小さな家具のリサイクル展は参加者にとってはメリットが大きい。しかし、アンケートでは満足度が低いので、あまり伝わっていないようである。様々な取り組みをしているので、それらがより楽しく伝わるように工夫する必要がある。
- ・ 港区の資源化センターで家具のリサイクル展を年に5回行っているが、平成24年度は述べ2500人が来場し、盛況である。3Rフォーラム当日は参加者が少ない印象を受けた。
- ・ アンケートを実施したのが小さな家具のリサイクル展を目当てに来た人たちは帰った後だったので、満足度が低いのだと思う。
- ・ 講演会や講座にはごみに対する意識が高い人たちが参加しており、グループワークで「生ごみは発生しない」と言っている参加者もいた。段ボールコンポストは集合住宅では難しいと感じている人も多い。自分の家でできた堆肥を活用できるとよい。

(4) フードバンクセミナーの開催告知

●事務局からの説明

区内の事業系食品廃棄物の削減につながるフードバンクについての情報提供を行うセミナーを開催する。セミナーではフードバンクの団体と、フードバンクに食品を寄付する団体から、それぞれ担当者に説明をいただく。

●主な発言

- ・ 港区にある日本スーパーマーケット協会の加盟会員にメールで案内を送っている。食品スーパーでも食品ロスの削減には関心が高い。現在、食品ロスが1%以下で、値下げロスが10%程度となっている。しかし、1%以下でも年間で大きな処理コストとなっているので対応を進めている。個別の取り組みでは、ヤオコーでは、小平に新店舗を開き、200kgの野菜くずを水分にかえる機械を実験的に導入している。肥料や堆肥にし、それで野菜をつくり、販売するという循環型の取り組みを実践しているところもある。
- ・ 食品リサイクル法で、発生抑制に目標値が設けられていることから、大企業では大きな課題となっている。「フードバンク」や「食品ロス」といったキーワードに関心のある人に案内が届いていないように思う。
- ・ 2012年のエコプロダクツ展で、大臣賞を受賞したのは、サンドイッチをつくる時に切り落とす食パンの耳を使った製品だった。事業者の食品ロスへの関心が高いことがうかがえる。

2 意見交換

平成25年度の事業の方向性について

●事務局からの説明

港区3R推進行動会議では、今年度11月に港区3R推進行動計画を改定した。今年度は「事業者のごみの減量、担い手の育成、情報発信の工夫」というコンセプトのもと、個別のプロジェクトを進めてきた。平成25年度は、平成24年度の事業を評価・反省し、港区3R推進行動計画に定められた3R推進行動会議に求められる事業に取り組みたい。平成24年度に引き続き「事業者のごみの減量、担い手の育成、情報発信の工夫」を推進したいと考えている。

●主な発言

- ・ 日本スーパーマーケット協会では、会員を対象にしたアンケートを実施し、食品リサイクルや容器包装リサイクルについての状況をまとめている。食品リサイクルの内容について、個別企業の取り組みについても紹介しているので確認してほしい。社会貢献活動の中で森林保全をしている。規模は小さいが、環境配慮に取り組んでいる。3.11の大震災以降、電力が足りなくなっている中で、コスト削減を目指すために環境配慮に取り組んでいる。コスト削減の手法として考えていただきたい。
- ・ スーパーマーケットは、地域の中のひとつの事業者として活動している。スマートグリッドやスマートシティという考え方が広まっているが、協会の会員団体と地域が相互補完している事例が増えていくように感じている。各社の環境への取り組みに理

解をいただき、そのことについて消費者として意見をいただきながら対応できることに取り組みたい。

- ・ 埼玉県ではレジ袋の有料化について検討しているが、消費者が最も密接に関わっているので、協力をいただきながら進めたいと考えている。
- ・ スーパーマーケットと消費者の関係は、買い物のレジ袋から、簡易包装、環境配慮商品の選択と広まっていく。来年度以降、つながりを生かした流れができていけばよい。例えば、スーパーマーケットの一面を使った消費者学習を行い、実際に見学し、消費者と店舗がコミュニケーションを深める取り組みができればよい。
- ・ 普段、消費者は、事業者がどのような環境配慮をしているのかを気づかないが、聞いてみるととても参考になる。
- ・ 4RとしてRefuse（リフューズ：購入拒否）も発生抑制に必要である。
- ・ 施設見学会は実施して欲しい。特に小中学生の啓発も兼ねたものがあればよい。
- ・ 港区の中でも地域をしぼって、モデル的に実践できればよい。港区全体で一斉に事業に取り組むことは難しいかもしれないが、エリアをしぼって取り組みを充実させられればよい。
- ・ イベントの開催場所をいつも同じ場所で開催するのではなく、より広まりやすい会場を考えたほうが良い。
- ・ 消費生活センターでは、消費者団体からも意見をいただきながら活動を進めている。港区3R推進行動会議とも連携ができるとよい。芝浦・港南地区に新しい施設が26年7月に開くので使って欲しい。
- ・ 芝浦・港南地区では住民が増えている。新しいマンションではディスプレイが設置されているため、分別せずに捨てていると聞く。そのような設備があると、生ごみを水に濡らさないという考え方がない。
- ・ 紙ごみセミナーの報告で、「禁忌品がわからない」ということが寄せられていたが、セミナーに参加しなければ分別方法がわからないことが問題である。普段の広報で伝えていく必要がある。細やかなことについて知らせる事業をしてほしい。
- ・ 区として情報発信はしているが、ミックスペーパーがリサイクルにまわっていないことは明らかなので、より積極的に取り組む必要がある。
- ・ 普及啓発だけをやっているのではなく、伝えなければならないことを普段から伝えることで、地域の分別が広まり、資源の質が高まり、成果が見えていくことが大切である。
- ・ 地域でいちばん課題と感じていることに取り組むことも必要である。
- ・ 施設見学会について、現場を見るとイメージがつくので、実施して欲しい。
- ・ 施設見学ではないが、区が実施するごみの組成調査を見学してもらうことも考えられる。
- ・ 組成調査を見学すると、自分のごみを排出する際に何が求められているのかがわかり、

何を伝えなければならないのかがわかる。

- ・ 消費生活センターやエコプラザの事業と連携するとよい。
- ・ 例年、企画が動き始めるのが遅い。例えばコンポストは4月から準備し7月に開催することが多いが、暖かくなる5月ごろに開催できると取組期間を長くできる。
- ・ 年間スケジュールに、よりストーリー性を持たせていく必要がある。
- ・ 各団体の代表者に参加してもらっているので、サポーター制度も活かしながら、地域に広めていく必要がある。仕組みはあるので、それを活用しながら事業に展開できればよい。

3 次年度の予定について

エコライフ・フェアMINATO2013出展

●事務局からの説明

5月25日（土）に開催されるエコライフ・フェアMINATO2013に出展するので、ご協力をお願いしたい。

4 その他

●連絡事項

- ・ 特になし。

以上